

県外派遣報告書

審判員名	長谷川 隆司	所属	中体連	
大会名	第43回関東中学校バスケットボール大会			
期間	平成25年8月5日(月)～7日(水)			
会場	ひたちなか市総合運動公園総合体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
8月5日(月)	審判会議 1回戦	ひたちなか市総合運動公園総合体育館		
8月6日(火)	2, 3回戦	ひたちなか市総合運動公園総合体育館		
8月7日(水)	準決勝、決勝	ひたちなか市総合運動公園総合体育館		
会議 講義 内容				
<p>審判会議では、指名の長尾繁徳氏、前田喜庸氏からレクチャーをいただいた。長尾氏からは、動きの4原則についての確認。①ボクシングインは、2人の協力(エリアの分担)②ペネトレイト(特にトレイル時のリバウンドの踏み込み)③オールウェイズムービングは間接視野で見て、位置、向きを大切にすること④4つのうち、特に大切なことは、スペースウォッチング。スペースの確認をするために、他3つの原則を意識することが大切となる。</p> <p>また、どんな審判員になりたいか?日頃どんなことを意識しながら活動をしているか?そのために努力していることは?と研修生での意見交換を行った。そして、近い目標と将来的な目標を明確にし、今大会はコート上で選手の気持ちを感じながら信頼されるレフリングをしていこうと、お話をいただいた。</p> <p>前田氏からは、今この場にいるのは自分が選択して来ているはず。関東大会だから意気込んで行うのではなく、日頃の地区大会1回戦から同じ心、体の準備をすること。本大会のゲーム運営ではTOの管理:中学生が行うため配慮しながら行うこと。そして円滑なゲーム運営ができるように心がけましょう。1つ1つの積み重ねで1日1cm進むことを心がけようとお話をいただいた。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月6日(火)	男子	3回戦
	対戦カード	敷島 VS 梅丘	副審	
	相手審判	長谷川 裕氏(神奈川県)		
ミーティング内容		主任 梶 崇司氏(栃木都)		
<p>悪い位置からの手の使い方、体の寄せの整理をしたほうが良かった。守った後にオフェンスがピボットをしてボールをコントロールしているときに横(後ろ)から手をはたいているのに判定に繋がらなかった。</p> <p>特に後半から自分の目の前のシュートブロックの判定で、相手審判に吹いてもらうケースが複数あった。プレーの流れ(最初から)を感じて判定する必要がある。</p> <p>1試合通してトレイルの追従について工夫したほうが良い。何も起こらないときは次のプレーの準備をしたほうが良い。いつも追従しているため、次の判定に遅れているケースが目立った。</p>				
担当試合	期 日	8月7日(水)	女子	準決勝
	対戦カード	東村山六 VS 埼玉栄	副審2	
	相手審判	藤代 透氏(東京都)、秋山 知洋氏(山梨県)		
ミーティング内容		主任 山田 健一氏(茨城県)		
<p>ディフェンスの悪い位置からの手の使い方について確認が必要である。</p> <p>トレイル時に、オフェンスが自分のエリアからセンターエリアヘッドドライブをしたときにセンターレフリーへの引き継ぎをすること、ペネトレイトして判定することが必要であった。</p> <p>リバウンド時や、ローポストへボールが入ったときは3人のレフリーの三角形を小さくする場面を増やしたほうが良かった。</p>				
全体の感想				
<p>今回派遣をいただき、全国大会出場試合、準決勝(スリーパーソン)のゲームの割り当てをいただくことができました。ツーパーソンでも、スリーパーソンでもディフェンスの悪い手の使い方の判定や、相手レフリーとの協力が足りない場面がありました。プレカンファレンスで確認したことや、ゲーム中の確認をもっと確実に言うべきであった。課題は1試合通して一貫性のある判定力だと感じました。悪い質のプレイを許さない芯の強さが足りないと感じました。どの試合でもチームから信頼される審判員になるために今後も活動を増やし努力する必要があると感じました。</p> <p>今回は茨城県の皆様には細部にわたりご配慮をいただき感謝しています。また、今回の派遣が県内外に関わらず貢献できるよう、活動していきたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>				